

表7 昭和57年度福島県芸術祭主催行事

行事名	期日・時刻	会場	内容
開幕行事	9月12日 10:00～11:30	白河市民会館	開幕式典・舞台公演等
俳句大会	9月19日 10:00～15:00	塙町公民館	講師 田川 飛旅子 選者 藤村 多加夫 ほか 問合せ先 塙町公民館 (投稿料1組 1,000円)
絵画展	9月25日～27日 9:00～16:30	表郷村公民館	絵画(日本画・洋画)の公募展・募集対象は高校生以上 申込締切 9月18日 審査員 安部 孫一・青津 清喜 (出品料無料)
写真展	9月25日～27日 9:00～16:30	表郷村公民館	写真の公募展・募集対象は高校生以上 申込締切 9月18日 審査員 成毛 賢二・鈴木 重夫 (出品料無料)
民謡発表大会	9月26日 9:30～15:00	棚倉町立棚倉 小学校体育館	県内の民謡愛好団体による発表会 出演団体 11団体 問合せ先 棚倉町中央公民館 (入場料 200円)
吟詠剣詩舞大会	10月3日 9:30～15:30	白河市 文化センター	県南を中心とした吟詠愛好団体の発表会 出演団体 10団体 問合せ先 白河市教育委員会 (入場無料)
詩祭	10月3日 10:00～15:00	矢吹町 中央公民館	講師 吉野 弘 講演とシンポジウムほか 問合せ先 矢吹町中央公民館 (入場無料)
茶道大会	10月10日 9:00～16:00	白河市南湖公園	諸流による茶会・第一席 蘿月庵・第二席 共樂亭 第三席 野点 問合せ先 白河市教育委員会 (入席料 700円)
三曲演奏会	10月11日 12:00～16:00	白河市民会館	箏・尺八の演奏会 箏 (山田流・生田流) 尺八 (都山流・琴古流) 問合せ先 白河市教育委員会 (入場料 700円)
短歌大会	10月17日 10:30～15:00	棚倉町 中央公民館	講師 山本 友一 申込締切 7月31日 問合せ先 棚倉町中央公民館 (投稿料1首 500円)
書道展覧会	10月23日～25日 9:00～16:00	東村体育館	書の公募展(小・中・高校生の部・一般の部) 申込締切 10月9日 問合せ先 東村教育委員会 (出品料無料)
みんなでうたおう (合唱祭)	10月24日 13:00～16:00	矢吹町 中央公民館	出演団体「コーラス矢吹」・「白河おかあさん合唱団」 「棚倉おかあさんコーラス」 「白河混声合唱団」ほか4団体 (入場無料)
民謡まつり	11月3日 13:00～16:00	矢祭町立東館 小学校体育館	民謡の発表大会 出演団体 15団体 問合せ先 矢祭町公民館 (入場無料)
川柳大会	11月7日 10:00～16:00	西郷村コミュニ ティセンター	選者 やぶうち三石 ほか10名 題「新幹線」「高原」「まばら」「からっ風」「温泉」 問合せ先 西郷村教育委員会 (投稿料 1,500円)
霧 (演劇公演)	11月28日 13:30～15:30	白河市民会館	1部 講演と演技 2部 演劇公演(霧の会) 講師 大海 日出子 (入場料大人500円・小人300円)

割と機能を原点に立ち返り検討を加えながら、各市町村並びに関係機関、団体との連絡協調をはかり、「動く文化センター事業」として県内各地域に幅広く活動することに努めた。

幼児童の情操涵養をねらいとした少年・親子両劇場、県民参加による舞台芸術発表公演、国内外の一流美術品を紹介する院展・ローレルック展、そして、歴史に対する認識と理解を促す各

種研修・調査等別表8の事業を展開した。県の委託事業として実施している「家庭劇場」は、ほぼ全町村を二巡し、同劇場に対する地域の期待と積極的な取

り組みにより充実したものとなっている。同じく三か年計画で進められてきた古文書緊急調査も調査を完了し「報告書二」としてまとめあげた。

また、五十六年度の当館の利用状況であるが利用日数は前年度と同数であったが利用人数において三十四万五千余人と前年比六％の減少をみている。施設別の主な利用をみると、文化会館では大ホールが百二十六回(十六万九千余人)、小ホールが百九十一回(五万余人)と回数・人数共に前年比十％の増となっている。

利用内容も音楽会が五十％を占め、その他演劇等舞台芸術関係利用合計は七十五％を越えている。

美術博物館では、二階展示室が十七回(一万九千余人)、三階展示室が二十回(八万六千余人)で回数は前年比二回増となっているが、入場人員は会期日数短縮等から四万人ほど減少している。会館の設備関係では五十六年度に引き続き小ホールの音響設備の改善工事がなされ、多目的ホールとしてより一層利用者の要望に応え得るものとなった。

県立文化施設の整備

一 県立美術館、県立図書館

担当班の発足から四年目をむかえた文化施設整備室も、職員数が、室長以